

Change!!

NO.44

H29. 10. 24

呉市立天応小学校

5 学年 学年だより

社会見学に行ってきました！ パート2



マツダミュージアムに行く前に、江波山気象館にある公園でみんなで昼食をとりました。天気も良く、気持ちの良い気候の中で、どの児童もおいしくお弁当を食べていました。お忙しい中、お弁当を作っていただきありがとうございました。

昼食を食べた後は、移動まで少し時間があつたので私も一緒になって鬼ごっこをしたり、生き物を探したり、おしゃべりをしたりしながら過ごしました。

マツダミュージアム

マツダミュージアムでは、マツダの歴史について、展示を見たり、「スカイアクティブテクノロジー」についての説明を聞いたり、実際に自動車が組み立てられている様子を見学したりしました。現在、社会科で「自動車をつくる工業」の学習をしているということもあり、どの児童も真剣にメモを取りながら見学をしていました。

まず始めは、マツダの歴史についてパネルを見ながら学習をしたり、実際にこれまで製造されていたマツダ車を見たりしながら、教科書では学べないようなことを詳しく知ることができました。その中でも、子どもたちが特に感動していたのが、「ル・マン24時間耐久レース」において、日本で初めて優勝をした自動車でした。その他にも、マツダが独自で開発をした「ロータリーエンジン」の仕組みについても教えていただきました。



歴史について学んだあとは、知っている児童も多い、マツダの代表車である「CX-5」の製造を例に挙げながら、自動車がどのようにしてできるのかを詳しく知ることができました。普段何気なく乗っている自動車ができるまでの、たくさんの工程があり、多くの方々の工夫や努力によって自動車づくりが支えられているということを学ぶことができたように感じます。



また、将来自分たちが運転する可能性がある、「未来の自動車」についても学ぶことができました。マツダでは、「ロータリーエンジン」を活用しながら、水素で走ることができる自動車を、現在も開発し続けているそうです。マツダ車は、部品の90%以上がリサイクルできるものを使用しており、自動車の製造と同時に、環境を守るための取り組みをしていることも知ることができました。



見学の最後には、実際に展示してある「デミオ」、「ロードスター」、「アテンザ」、「CX-5」に乗ることができました。普段は、助手席や後部座席にしか乗ることがないからか、運転席に乗っているときは、どの児童もとてもうれしそうでした。また、外見がかっこいいだけでなく、内部もデザインにこだわっていることや、多くの人に乗ってもらうために、同じメーカーでも様々なサイズの自動車があることなどに気付いた児童もあり、大変貴重な体験をすることができたと思います。

現在は、この社会見学を通して学んだことを新聞にまとめたり、社会科の学習の中で、さらに詳しく「自動車づくりに関わる人々の工夫や努力」について学んでいます。単元の最後には、一人一人が学習を通して学んだことを生かして、「未来の自動車」を考える時間を設ける予定としております。考えた自動車は掲示をする予定ですので、楽しみにしていただけたらと思います。



Change!!

NO.50

H29. 11. 7

呉市立天応小学校

5学年 学年だより

陸上記録会について

11月4日（土）に、呉市総合スポーツセンターで陸上記録会が行われました。5年生からは、「走り幅飛び」に、星山真那斗君と横田百花さん、「ソフトボール投げ」に、川西智也君と友井明香里さん、「100m走」に川西和也君と鳴戸ひさのさんが、それぞれ5年生代表として出場しました。

気温が低かったり、風が強かったりと、ベストコンディションでのぞむことができない中、全員が精一杯力を出し切ることができたように感じています。また、大勢の人々の前で競技をするという貴重な経験もすることができ、大変充実した一日となりました。

来年度は、走り高跳びや1500m走、400mリレーなど、出場できる種目も増えます。来年度も、お互いに切磋琢磨しながら、目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。



マツダ環境授業

現在、社会科で学習をしている、「自動車をつくる工業」では、広島市に本社がある「マツダ株式会社」を教材として取り上げ、学習を進めています。これまでの学習の中で、自分たちの身近にあるマツダが、「なぜ世界で認められているのか？」という学習課題について、「技術の高さ」や「生産効率の良さ」、「安心・安全な自動車づくり」などさまざまな視点から学習を深めることができています。

11月6日（月）には、実際にマツダから講師をお招きし、「マツダの環境への取組み」について教えていただきました。乗る人が満足をするだけでなく、地球のことも考えながら自動車づくりを行っているマツダの取組みについて知ったことで、「もっとマツダのことを調べたくなった。」や「将来はマツダの自動車に乗ってみたい。」などの感想を書いている児童もいました。

普段私たちが使っている工業製品の陰には、こういった多くの方々の工夫や努力があるということを、学習を通して実感している児童が増えてきていることを、とてもうれしく感じています。こういった学習をしていく中で今後は、「自分ならどうするか？」という視点ももたせることができるよう、授業をしていきたいと思います。

